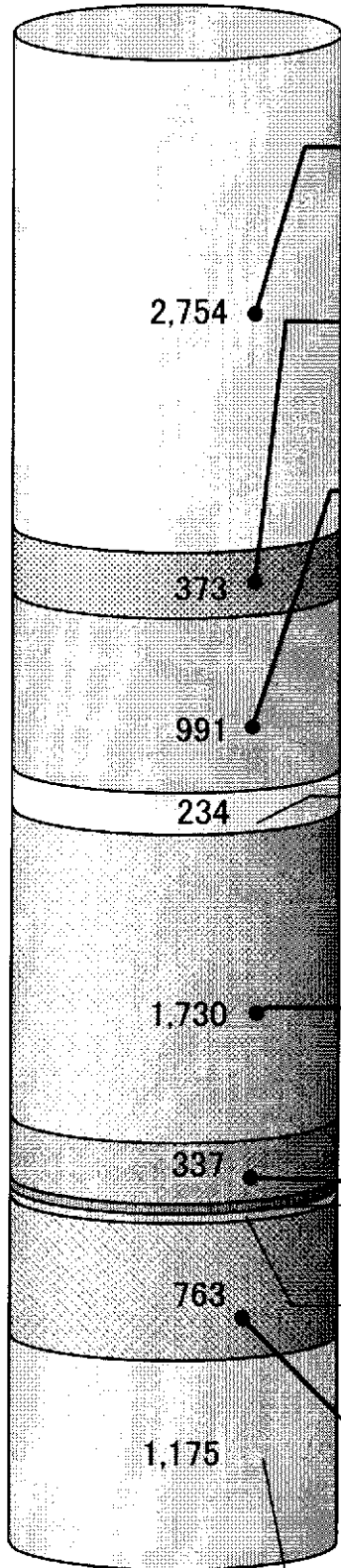


一般会計予算の概要

歳入

総額 **8,464** 億円

対前年度 +235億円(+2.9%)



市税 対前年度 +37億円(+1.4%)

景気低迷による所得の減により個人市民税は減少しますが、法人市民税等の増加により前年度予算から1.4%の増となりました。

地方譲与税・地方特例交付金・道交付金等

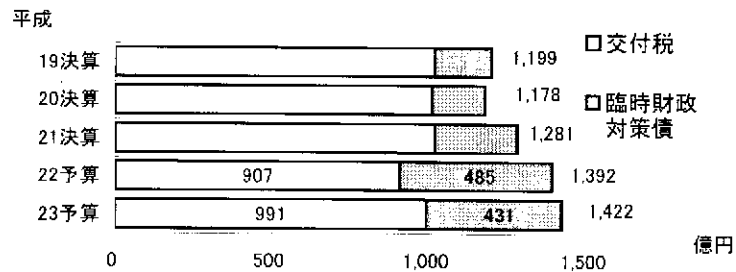
対前年度 ▲14億円(▲3.6%)

地方譲与税や地方消費税交付金の減少等により、前年度予算から3.6%の減となりました。

地方交付税 対前年度 +84億円(+9.3%)

交付税の振替措置である臨時財政対策債との合計では1,422億円となり、前年度予算から2.2%の増となりました。なお、肉付予算に向けて30億円を留保しています。

交付税および臨時財政対策債の推移



分担金負担金
使用料手数料

国庫支出金 対前年度 +188億円(+12.2%)

生活保護や子ども手当、障害者自立支援といった扶助費の増加等により、前年度予算から12.2%の増となりました。

道支出金

対前年度 +26億円(+8.5%)

子宮頸がんワクチン等の接種支援や障害者自立支援といった扶助費の増加等により、前年度予算から8.5%の増となりました。

財産収入 55億円

- 繰入金 52億円
- うち基金の取崩し(主なもの)
- 財政調整基金 22億円
- 敬老優待乗車証基金 11億円
- 減債基金 9億円

市債 対前年度 ▲18億円(▲2.3%)

臨時財政対策債の減少等により、前年度予算から2.3%の減となりました。

諸収入等

歳出

総務費 対前年度 +7億円(+2.4%)

国勢調査費は皆減しますが、カーリング場建設や公共交通ICカード導入推進事業費の増加等により、前年度予算から2.4%の増となりました。

保健福祉費 対前年度 +266億円(+9.7%)

生活保護や子ども手当、障害者自立支援といった扶助費の増加等により、前年度予算から9.7%の増となりました。

環境費 対前年度 ▲23億円(▲12.8%)

家庭ごみの減少等によるごみ収集費の減や祿路清掃工場の廃止等により、前年度予算から12.8%の減となりました。

経済費 対前年度 +16億円(+1.7%)

札幌みらい資金の創設や地域総合整備資金貸付の増加等により、前年度予算から1.7%の増となりました。

土木費 対前年度 +30億円(+4.0%)

市営住宅の建設費や市有建築物の計画的な保全による事業費の増加等により、前年度予算から4.0%の増となりました。

教育費 対前年度 +20億円(+6.3%)

市立札幌大通高校整備費は皆減しますが、小・中学校増改築費等の増加により、前年度予算から6.3%の増となりました。

公債費 対前年度 ▲49億円(▲4.9%)

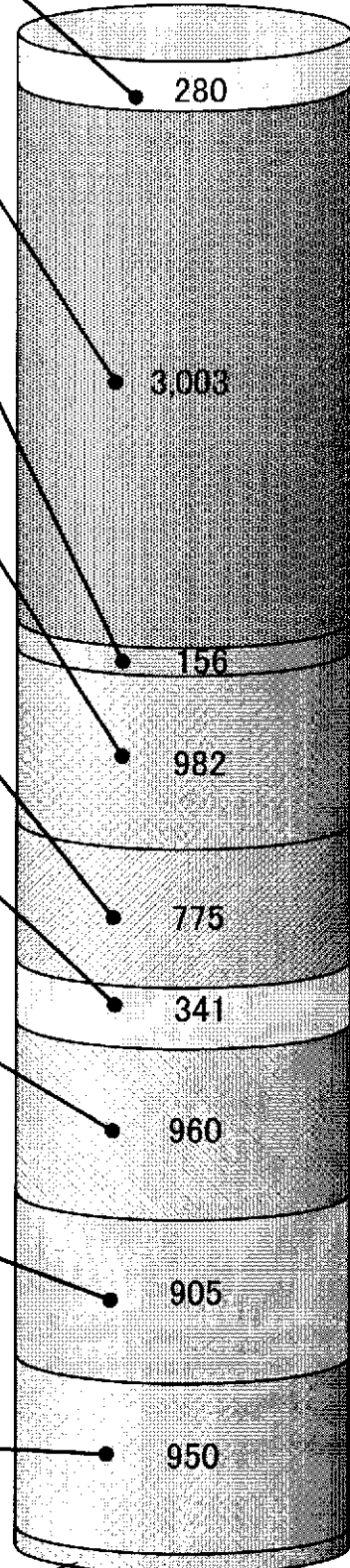
元金や利子の減少により、前年度予算から4.9%の減となりました。

諸支出金 対前年度 ▲26億円(▲2.8%)

高速電車事業会計への繰出金や財産取得費の減少等により、前年度予算から2.8%の減となりました。

職員費 対前年度 ▲37億円(▲3.8%)

手当の改定と退職者の減により、前年度予算から3.8%の減となりました。



注)金額については億円未満を四捨五入して表示しているため、各項目の和と総額とが一致しない場合があります。

その他 112億円

Ⅲ 主な事業について

1 子どもを生き育てやすく、健やかにほぐくむ街 ①

Point

- ・ 子育てと仕事の両立の支援や、子育て支援施設等の整備
- ・ 子宮頸がん等予防接種の公費負担の充実

子どもを生き
育てやすい
環境づくり

—主要事業—

予算額（千円）

○児童会館運営管理	2,270,505
○ミニ児童会館運営管理	860,683
○札幌市児童育成会運営委員会補助	242,100
ミニ児童会館施設設備整備	78,300
○放課後子ども教室推進モデル事業	10,410
私立保育所新築・増改築費補助	2,514,593
認可保育所整備促進事業	5,000
私立保育所分園整備費補助	22,500
◎私立認定保育所整備費補助	187,185
私立保育所老朽改築費等補助	112,264
◎家庭的保育事業	34,500
○感染症予防	3,872,254
○母子家庭自立支援給付金事業	170,900
ワーク・ライフ・バランス推進事業	7,000
○子ども手当支給	35,707,978
特定優良賃貸住宅供給事業	195,353

◎：新規事業、○：レベルアップ事業

●子どもの居場所づくりを支援

児童会館運営管理
ミニ児童会館運営管理
札幌市児童育成会運営委員会補助
ミニ児童会館施設設備整備



ミニ児童会館4館整備

児童会館及びミニ児童会館における児童クラブや民間児童育成会において、対象学年を現行の3年生までから4年生までへ拡大するとともに、4か所のミニ児童会館の整備に着手し、子どもが安全で健やかに活動できる居場所づくりを進めます。



放課後児童クラブを4年生まで拡大

放課後子ども教室推進モデル事業



児童会館がなく、ミニ児童会館の整備が困難な小学校等に放課後の居場所をつくるモデル事業を実施します。
(新たに新川西地区で実施)

● 保育所定員を大幅拡大

急増する保育需要に対応するため、保育所の新築を中心に、さまざまな手法で保育所の整備を図ります。

私立保育所新築費補助

新築 11 か所 (定員 930 人増)

私立保育所増改築費補助

増改築 6 か所 (定員 180 人増)

認可保育所整備促進事業

整備 1 か所 (定員 60 人増)

私立保育所分園整備費補助

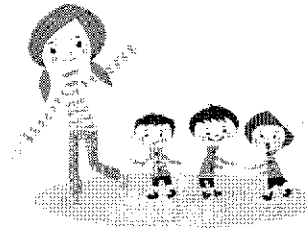
分園 2 か所 (定員 40 人増)

私立認定保育所整備費補助

廃止予定の市立幼稚園の跡施設を活用した、認定こども園の整備に対する補助を行います。

整備 2 か所 (定員 90 人増)

保育所定員 1,300人増!



私立保育所老朽改築費等補助

入所児童の安全確保や保育環境の改善のため、老朽化が著しい私立保育所の改築や大規模改修に対して補助を行います。

幼稚園跡施設を活用し 認定こども園を整備

● 新たな保育ニーズへの対応

家庭的保育事業

待機児童対策や多様な保育サービスの提供を目的として、家庭的保育者(保育ママ)による居宅を活用した少人数保育を実施します。



【事業内容】

- ・家庭的保育者(保育ママ): 6人
- ・定員数: 5人(ママ1人あたり)
- ・対象: 乳幼児(3歳未満)
- ・保育日: 月~金曜日
(祝日、年末年始を除く)
- ・保育時間: 8時~18時の間で8時間

ちあふるが保育ママをバックアップ

区保育・子育て支援センター(ちあふる)が連携保育所となり、地域と交流しながら保育を行います。

● 全額公費負担による感染症予防の実施

感染症予防

早期の感染症予防のため、3種のワクチン接種について全額公費負担による助成を実施します。

- 【対象者: 中学1年生~高校1年生】

・子宮頸がんワクチン

- 【対象者: 生後2ヶ月~4歳】

・小児用肺炎球菌ワクチン

・ヒブワクチン



● 母子家庭への支援の充実

母子家庭自立支援給付金事業

看護師資格等を取得し、経済的自立を図ろうとする母子家庭に、給付金を支給します。

【支援内容】

- ・対象資格: 看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士
 - ・支給対象期間: 全修業期間
 - ・支給月額: (住民税課税世帯) 70,500円
(住民税非課税世帯) 141,000円
- ※資格取得のため、2年以上養成機関で受講することが条件です。

受給者数51人→115人

1 子どもを生き育てやすく、健やかにたくむ街 ②

- Point
- ・ 児童・生徒等に対する支援体制の拡充
 - ・ 特別支援教育の充実や学習機会の充実

未来を担う
子どもが
健やかに育つ
環境の充実

一主要事業一

予算額（千円）

○スクールカウンセラー活用事業	223,681
○スクールソーシャルワーカー活用事業	5,230
○私立幼稚園特別支援教育事業費補助	156,809
○特別支援教育関係	163,173
○札幌らしい特色ある学校教育事業	18,579
読書チャレンジ関係	25,000
小・中学校増・改築	4,347,000
学校統合関係改修等事業	433,600
◎ファミリーホーム整備費補助	16,000
○子どもの美術体験事業費補助	12,000
◎姉妹都市少年交流事業	5,000
災害遺児手当支給	7,944
子どもの権利推進事業	6,600
子どもの権利救済機関運営管理	44,900
奨学金支給	101,013

◎：新規事業、○：レベルアップ事業

● 学校等での相談体制の充実

スクールカウンセラー活用事業
スクールソーシャルワーカー活用事業

スクールカウンセラーを臨床心理士等の有資格者にするとともに、小学校への配置時間の拡充により、学校における相談体制の充実を図ります。また、スクールソーシャルワーカーの増員や関係機関との連携により、子どもや家庭への支援ができる学校体制を充実します。

カウンセラーの相談時間の拡充
小学校への配置時間(36→45時間/年)



ソーシャルワーカーの増員
3名体制⇒5名体制

● 特別支援教育の充実

特別支援教育関係

小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対して学習活動上の支援を行う、特別支援教育支援員(学びのサポーター)の配置校数を拡大します。

学びのサポーターを拡大配置
(230校 ⇒ 260校)

豊成・北翔養護学校に配置している看護師を増員し、医療的ケア体制の充実を図ります。
(各校1名増員)

看護師増員
2⇒3名/校

● 幼稚園の特別支援教育を応援 補助対象の拡大

私立幼稚園特別支援教育事業費補助

発達障がいなどの特別な支援を必要とする幼児の受け入れを行っている私立幼稚園に対して人件費補助を行い支援します。



● 特色ある教育を推進

札幌らしい特色ある学校教育事業

「自立した札幌人」を育むため、「雪」「環境」「読書」の3つのテーマに沿った事業を展開します。

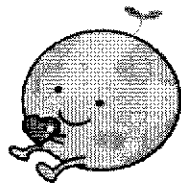
【内容】

さっぽろっこスキーフェスティバル
スキー学習指導者講習会
さっぽろっこ農業体験
さっぽろっこ環境ウィーク等



雪キャラクター
「ゆっぼろ」

環境キャラクター
「ちつきゅん」

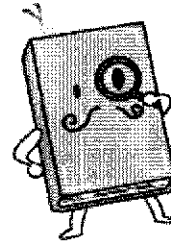


読書チャレンジ関係

子どもの読書の習慣化と意欲の向上を図り、子どもが自ら進んで本を読みたくなるような環境を整備します。

【内容】

図書資源ネットワーク事業
子どもの読書活動サポート事業
子どもの読書活動推進事業等



読書キャラクター
「おっほん」

● 学校の増・改築による学習環境の充実

小・中学校増・改築

老朽化した学校の改築工事、児童生徒の増加等に伴う増築工事を行うほか、改築に向けた実施設計を行います。

改築：北白石小・中学校、東橋小学校など
増築：日新小学校、屯田北中学校

北白石小・中学校完成図
(ベレットボイラー設置)



● 家庭的養護の促進

ファミリーホーム整備費補助

ファミリーホームを開設する際の施設改修費を補助します。

ファミリーホーム：
事業者（里親など）が少人数の家庭的な環境で児童のケアをする施設



● 子どもたちの美術体験機会の創出

子どもの美術体験事業費補助

芸術の森美術館に小学生（5年生）を招待し、学芸員等による展覧会の解説や、佐藤忠良記念子どもアトリエでの体験学習を開催します。

小学校全校に拡大実施!



● 国際交流を推進

姉妹都市少年交流事業

大田（テジョン）広域市（韓国）、ノボンビルスク市（ロシア）と共同で、本市を含めた3都市の少年少女（中学生）が体験学習等で交流を深めるとともに、国際会議を行い未来に向けたメッセージを発信します。

